

## 富山国際大の学生が問題を作成するワークショップに挑戦

越中チャレンジのPRの一環として、県内の大学生が問題を作成する初のワークショップに取り組む。14日には富山国際大現代社会学部の才田春夫教授が指導するゼミの学生10人が参加し、学生が問題づくりの参考にするため、黒部市の生地蒲鉾（かまぼこ）とYKKセンターパーク、朝日町のヒスイ海岸を回った。学生が作成した問題は後日、特集紙面やホームページに掲載する。



(写真=YKKセンターパーク)